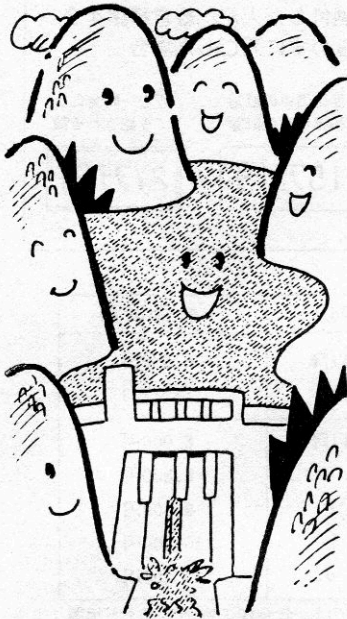




山火事から守ろう!

水をつくりだす “緑のダム”



森林は木材を生み出すだけでなく、水をはぐくみ、災害を防ぐなど、限らない恩恵をわたしたちに与えてくれています。

この貴重な森林もちよつとした不注意による山火事によって、一瞬のうちに灰となつてしまします。山火事に注意しましょう。

“生命の水”の源は森林

源は森林

「蛇口をひねれば、いつでも水が……」——わたしたちはふだんの生活の中で、水の豊かさに慣れすぎて、その恩恵を忘れがちです。

ところが、わたしたちのこの“生命の水”をはぐくんでくれているのは、その源をたどれば、じつは“森林”なのです。

●森林は“天然のダム”

森林の土壌は、雨水を蓄え徐徐に河川に流し出します。

ところが緑のないはげ山では、雨水は大部分が地表を直接流れ出してしまします。森林がない所に多量の雨が降ると、川には一挙に雨水が流れ込み、洪水を引き起こしてしまします。

●国土を守る森林

森林が整備されていると、地面の草木や落葉の働きによって、土壌の侵食を防ぐことができます。また、樹木は地中に深く根をおろしているため、土砂の崩壊を防ぎます。

●森林は“天然の浄化器”

雨水には窒素やリンなどのほかに、大気汚染物質も含まれて

います。ところが、森林に降った雨は地中深く浸透する間に、これらの不純物はとりのぞかれ、微量のミネラルが加わります。森林の水がきれいでおいしいのは、そのためです。



山火事から守ろう

緑豊かな森林

造林時期を迎えました。これから、森林内で作業を行う機会が多くなり、また気象条件等からも山火事が発生しやすい時期となりました。

近年、山火事は、全国的に大規模化し、多発化の傾向にあります。山口県においても、この五年間に三百八十件の山火事が発生し、百七十六ヘクタール・一億六百万円あまりの被害を受けております。

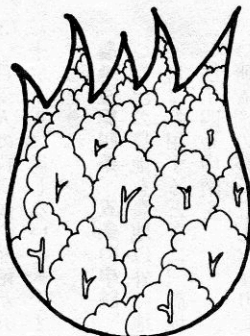
山火事の起火原因は、「たき火の不始末」・「タバコやマッチの投げ捨て」などが大部分を占めております。

こうしたことから、山に入る

場合は、お互いに注意を呼びかけると同時に、一人ひとりが山火事から貴重な森林を守るために次のことに注意しましょう。

- タバコの吸いごらは、完全に消しましょう。
- やむを得ずたき火をするときは、後始末を完全にし、残り火がないよう注意しましょう。
- 強風時や異常乾燥注意報が出ているときは、たき火等はやめましょう。
- 造林の地ごしらえ等で火入れをする場合は、町長の許可を必ず受け、消火用具を備えて作業をしましょう。

“ちよつとまで!”
その火はほんとうに消えているか? ”



※火入れをされるときは、役場経済課林務係、または総務課管理係まで届け出て下さい。